



口唇の内側に小さなできものができ、歯科医からは「粘液嚢胞」だろうと。レーザーで除去できるようですが、手術の方が再発の可能性は低いとも説明を受けました。このまま放っておくのはよくないですか。レーザーと手術の善しあしも知りたいです。(49歳、男性)

粘液嚢胞

口唇は粘膜という湿った膜に覆われ、膜の下に小唾液腺と呼ばれる唾液を作る組織があります。特に下唇には小唾液腺が多く、唾液腺の中で作られたつばは通常、細い管を通じて口の中に出てくるので、口唇は湿った状態になっています。

口唇は粘膜という湿った膜として考えられます。粘液嚢胞は悪性の病気ではないので、必ず手術が必要なのわけではありません。ですが、大きく腫れるとかんでしまったり、違和感を抱いたりすると思います。本来は痛みを伴うことはありません。

治療では一般的に嚢胞摘出術が行われます。この手術は再発しないよう、嚢胞とともに原因となっている小唾液腺を摘出します。手術は局所麻酔により数分で終わりますので、麻酔の注射以外に痛みを感じることほとんどありません。

治療では一般的に嚢胞摘出術が行われます。この手術は再発しないよう、嚢胞とともに原因となっている小唾液腺を摘出します。手術は局所麻酔により数分で終わりますので、麻酔の注射以外に痛みを感じることほとんどありません。

◆第1、3、4日曜に掲載します。

(兵庫県医師会、大月直樹Ⅱ 姫路市、県立はりま姫路総合医療センター頭頸部腫瘍センター長)

手術は数分、ほとんど痛みなし

しかし管が何らかの原因で傷ついたり、詰まったりすると唾液が唇の粘膜の下にたまり、これが粘液嚢胞です。下唇以外には舌の裏側や頬の粘膜にできることがあります。原因は分からないことが多いですが、唇を誤ってかむことや、口内炎などが原因と

もありますが、再び腫れて再発しますので、希望であれば治療します。粘液嚢胞と診断されたそうですが、病変が少しづつ大きくなり、痛みを伴って治らないようであれば、まれに他の疾患の可能性もあるので、精密検査を受けることをお勧めします。

切開は口唇の内側の粘膜に對して実施しますので、傷は見えませんが、分からないくらいに治っていくと思います。摘出以外はたまった液を吸引したり、凍結したり、レーザーで病気の組織を焼いて破壊したりする方法もありますが、再発することもあるの